



# CPhI Japan 2016 開幕

テープカット  
に臨む関係者

◆ 化学工業日報社など主催 ◆

化学工業日報社、UBMジャパンなどが主催する「国際医薬品原料・中間体展（CPhI Japan 2016）」が20日、東京ビッグサイトで開幕した。同展を中心にした機器・装置、バイオ医薬品分野などの専門展が同時開催される製薬業界向けの国際総合展示会。さらにUBMが開催している医療機器開発のための5つの展示会とともに「ジャパンライフサイエンスウィーク」として展開し、ヘルスケア・医療機器に関心のある企業や個人が見応えの一大イベントとなっている。

CPhI Japanは今回で15回目。「製薬業界受託サービスエキスポ（ICSE Japan）」「医薬品原料機器／装置展（P-MEC Japan）」「バイオファーマージャパン（BioPh Japan）」「DDS・医薬品包装展（InnoPack Japan）」が併せて開催される。さらに今回からは、製薬業界向けITイベント「ヘルスケアIT（Health Care IT）」がこれに加わった。世界の約30の国と地域から約500社が出席、会期は22日までの3日間。

医薬品関連の製品・技術・サービスに関する最新情報が集結、世界中から集まったサプライヤー、カスタマーが一堂に会し商談が繰り上げられる。展示のほか、出版社プレゼンテーション、各種講演、コンファレンス、セミナーなど多彩なプログラムも用意されている。

同日午前の開会式では主催者を代表して化学工業日報社の織田島修社長らがあいさつ。同社長は熊本県を中心とした地震の復興支援の募金活動を同展示会で行うことを明らかにしたほか、「CPhIはビジネス直結の商談が活発に行われることが特徴。業務にぜひとも役立ててもらいたい」となごんと語った。

東京ビッグサイトまで22日まで